

科目ナンバー： BC2102

授業コード： 2230201000

講義科目名称： 成人看護学Ⅱ

英文科目名称： Adult Health NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員			
◎高柳智子、横川史穂子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎高柳 智子 横川 史穂子	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 203 202	【メールアドレス】 takatomo@niigata-cn.ac.jp yokokawa@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します。			
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎ ○			

到達目標	1. 急性状況にある成人期の患者と家族の特徴ならびに急性期看護への理論モデルの適用を説明できる。 2. 周手術期、救急、災害発生時における看護を、科学的根拠をふまえて説明できる。
------	--

授業概要	健康の危機的状況にある人々と家族に対する看護について、基礎的知識を修築する。急性状況にある患者の特徴ならびに急性期看護の特徴をもとに、周手術期看護、救急看護、災害発生時の看護に関する基本を学ぶ。
------	---

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：急性期にある人々の理解と看護ケア 学修内容：急性状況にある成人患者と家族の特徴、急性期看護における理論モデルの適用 事前学修：「成人看護学総論」p200～p238を読んでくこと 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、授業で紹介した理論モデルの急性期看護への適用を考える 備考：高柳
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：周手術期にある人々の理解 学修内容：周手術期の定義、手術侵襲と生体反応、創傷治癒過程、ドレーン管理 事前学修：「周手術期看護論」第1～3章を読み、不明な点は調べておく 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、力試しテストは正答だけでなく根拠を調べ説明できるように学びを深める。 備考：高柳
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：術前看護 学修内容：意思決定支援、術前アセスメント、手術オリエンテーションと手術に向けた身体準備 事前学修：「周手術期看護論」第4章を読み、不明な点は調べておく 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、理解不十分であった点は教科書や図書館の文献を活用して学びを深める。 備考：横川
	4	授業内容 授業形態：講義 学修課題：術中看護 学修内容：手術室の環境管理、麻酔法と生体反応、手術室看護師の役割と看護の実際 事前学修：「周手術期看護論」p101～p128を読んでくこと 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、理解不十分であった点は図書館の文献やオフィスアワーを活用して学びを補う 備考：ゲストスピーカー
	5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：術後看護①-術後の全身管理・術後疼痛管理- 学修内容：術後の全身管理、術後疼痛管理

	6 事前学修：「周手術期看護論」第4章p129～p150を読み、不明な点は調べておく 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、理解不十分であった点は教科書や図書館の文献を活用して学びを深める。 備考：横川 授業内容 授業形態：講義 学修課題：術後看護②-合併症予防・術直後～回復期における看護の実際- 学修内容：合併症予防、術直後～回復期における看護の実際 事前学修：「周手術期看護論」第5～6章を読み、不明な点は調べておく 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、理解不十分であった点は教科書や図書館の文献を活用して学びを深める。 備考：横川 7 授業内容 授業形態：講義 学修課題：災害発生時の看護 学修内容：災害サイクル、災害発生時の医療体制、災害発生時に生じやすい健康被害と看護の実際 事前学修：看護学概論での災害時の対応、基礎看護技術演習Ⅱのフィジカルアセスメントについて復習しておくこと 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、理解不十分であった点は図書館の文献やオフィスアワーを活用して学びを補う 備考：ゲストスピーカー 8 授業内容 授業形態：講義 学修課題：救急看護 学修内容：日本の救急医療体制、救急医療をうける患者と家族の特徴と救急看護、救命の連鎖と一次救命処置 事前学修：「成人看護学総論」p209～p210を読んでもらうこと 事後学修：授業内容を各自でまとめるとともに、一次救命処置の各手技の根拠について十分押さえておくこと 備考：高柳
評価方法、評価基準	到達目標 1 ～ 2 に対して、筆記試験100%とする。
必携図書	小松浩子 著者代表(2023)：系統看護学講座 成人看護学総論 第16版，医学書院. (前年度購入済み教科書を使用する) 雄西智恵美 秋元典子 編(2020)：成人看護学 周手術期看護論 第3版，ヌーヴェルヒロカワ.
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	授業の日程や事前準備、試験等に関することはどこかで周知する。授業計画に沿って必携図書に目を通し、指示された自己学修を行ったうえで受講のこと(20分以上の遅刻は欠席扱い)。欠席、追試、再試の各手続は学生便覧に従い遂行する。なお、私語など他の学生の受講に支障となる行為は厳禁とする。
教員からのメッセージ	急性期看護の基本となる知識を学ぶ。この科目で学んだことが成人看護学Ⅳにつながっていくので、事前・事後学修を十分行い、積極的な姿勢で参加していただきたい。
オフィスアワー	事前に連絡要(メールも可)